

好きを教えて



それまでのオレは

誰かから好きになつてもらつたこと
なんてなかったし

「好き」という
気持には
憧れとか理想しか
抱いていなかった

ナルト

好きだよ





好きだよ

だから
その時は

「好き」というのが
本当はどんな気持ち
なのかわかって
いなかったけれど



ただ

あああ

「好き」という
言葉が嬉しくて



...うん...っ





それ以降

オレは
吸い寄せられるように

カカシ先生と
過ごすように
なった



そして
大きくなってからは

ハア・・・

ナルト・・・

・・・ア

カワイ・・・

カワイイ・・・
ナルト・・・

カカ・・・せんせ

カカシ先生と
いつの間にか

こんなことを
するようにな
っていた

・・・アツ

・・・ヤ・・・アツ

・・・ンシ・・・



それでもオレは



よく
わかっていなかった



人を好きになる
ということが
どういふことなのかは









・・・だっ・・・
だからさっ・・・

オ・・・オレと
カカシ先生が
こんな・・・
してんの・・・

へ・・・変なんじゃ
ないかって・・・
思って・・・

ナルトは
変なことに感じる？

・・・え？

あーっ

・・・

オレと
こんなことするの
イヤ・・・？





なんで・・・
カカシ先生・・・

男のオレに
こんなことするんだろ



・・・オレのこと
「好き」だから？



好きだよ？



ナルト・・・

好きだよ







こんな風に
そばにいて
もらうのも
初めてだし





だから

わかんねーん
だつてばよ……



……!

カカシ先生
また……!



フロ入ってねー時は
ソレはイヤつて
言っただろ?!



カカシ先生が
気にしなくても
オレが気に……

だーいじょうぶ、
オレは全然
気にしない





・
・
・
ア
・
・
ツ



ア
・
・
・

$$\frac{42}{149}$$

何でオレも

ン・・アツ！

こんなこと
カカシ先生にされて
自然に受け入れて
るんだろ・・・

・ ・ ・ ・ ・



こんな気持ち
誰にも持ったこと
ないから……



……アッ

……ンッ

ヤッ……!!



オレってば……
「好き」とか言われて
ただ舞い上がってる
だけなんかな？

アッ……

アア……ッ!



ヤッ……

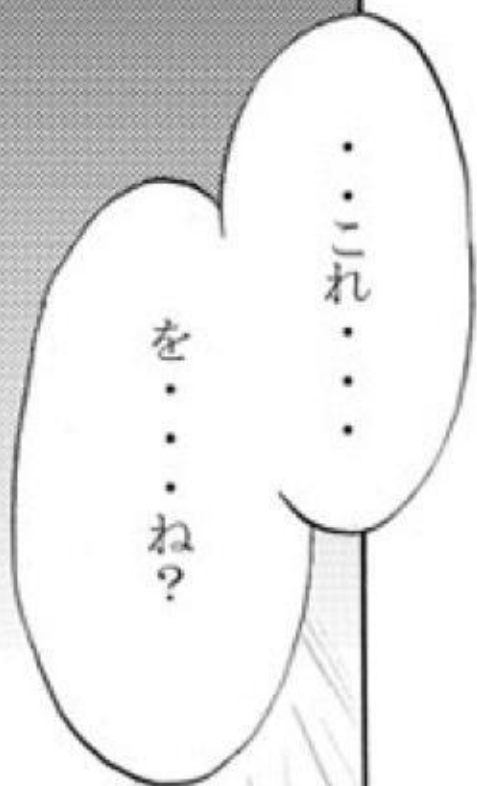
先……生ッ

カカ……せ……んせ











……うん

いつもは
ナルトのをしたら
終わってたんだけど

今日は……ちよつと
オレももう抑え
られないな……つて
思つて……ね……

……ンジ

……ンジッ！

……いつ……
いつもそんなの……
したかったんか
つてばよ……？！



うん

ハ・・・

わからない・・・



・・・！

レレレ

えつとね・・・

わからないん
だつてばよ・・・
カカシ先生・・・

もう一回
言うね？

ナルトの
ここにね？

・・・ヤッ！

・・・アッ！

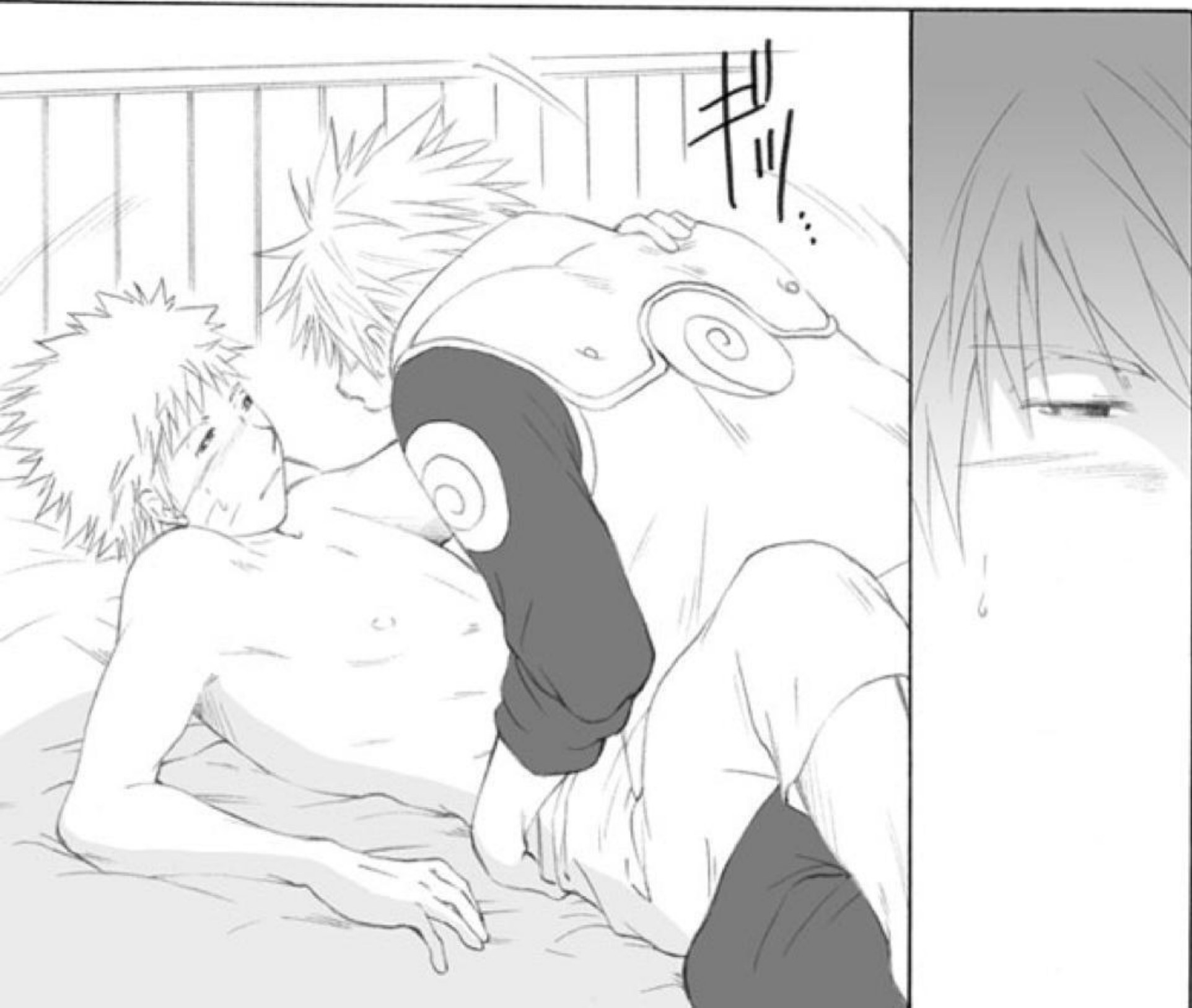
これって
普通なの？

セックスって
いうんだよ？

オレのを
入れて・・・
するの・・・

好きになったら
誰でもする
ことなの？

しっ・・・
知ってる
つて・・・ばよー！
それ・・・くらい・・・！

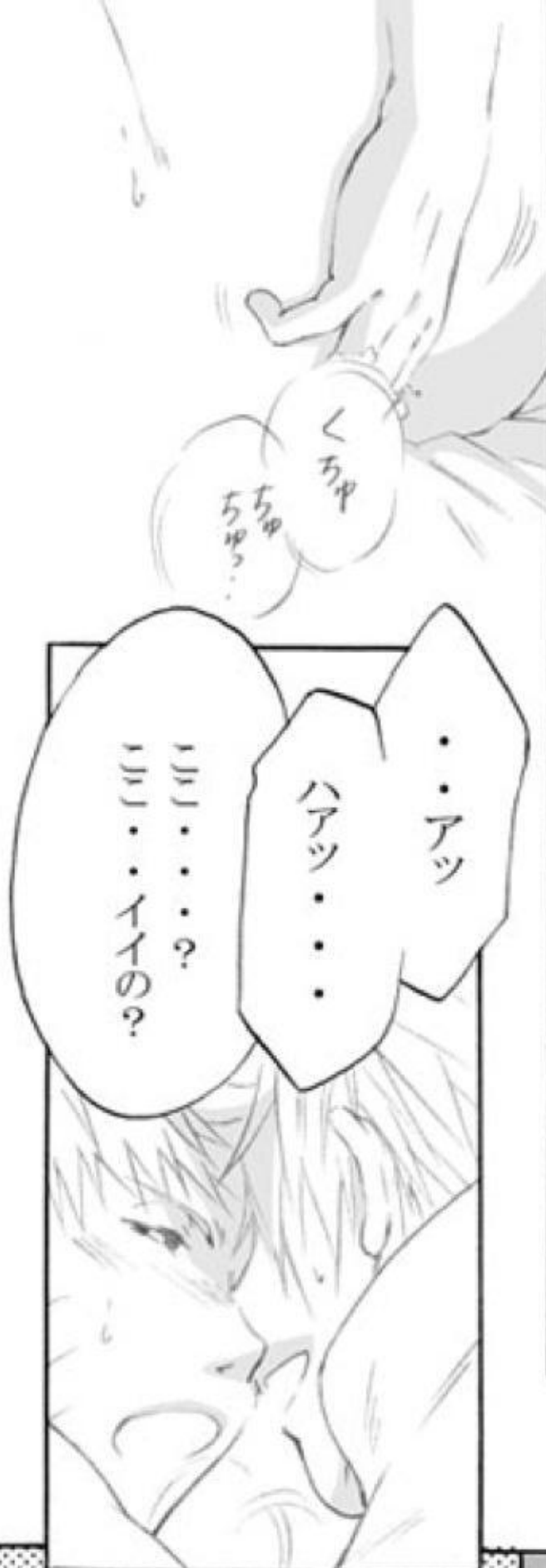












セックスしたら













.....ナルト

無理してる？

.....え？！



.....いや.....
無理っていうか.....



.....



オレってば
.....こんなもの
したことねーし
.....その.....





・・・ハハ・・・
ビックリした？



カカシ先生・・・
あのさ・・・
オレ・・・



オレはもう
限界だな



・・・ごめん・・・

ナルトには
しないから・・・
このまま胸だけ
借りていい？

・・・え？

なに・・・？

どうして

・・・カカ・・・？

・・・！

オレのことが
好きなの？







ぎゅぎゅ

3/27

・・・うっ

っ・・・

・・・っ
うっ・・・

・・・ハ・・・
ごめんごめん・・・
そっか、
びっくりさせたな？

・・・そうだな？
突然こんなことされて
いい気分はしないな・・・

どうして
なんだってばよ・・・
カカシ先生・・・

・・・うっ

・・・っ

これじゃやっぱり
ナルトがかわいそう
だな・・・

自分抑えられなくて
ごめんね・・・

やっぱり
トイレで
してくるね？

ち・・・
ちがうつてばよ！

そうじゃなくて！

ぎゅぎゅ

だっ・・・
だつて・・・
オレが・・・！

オレ・・・がつ・・・！

どうして
こんなオレなんかを
好きなん
だつてばよ・・・











好きだよ



その時
初めて

・・・うっ・・・

カカシ・・・
先生・・・っ

うっ

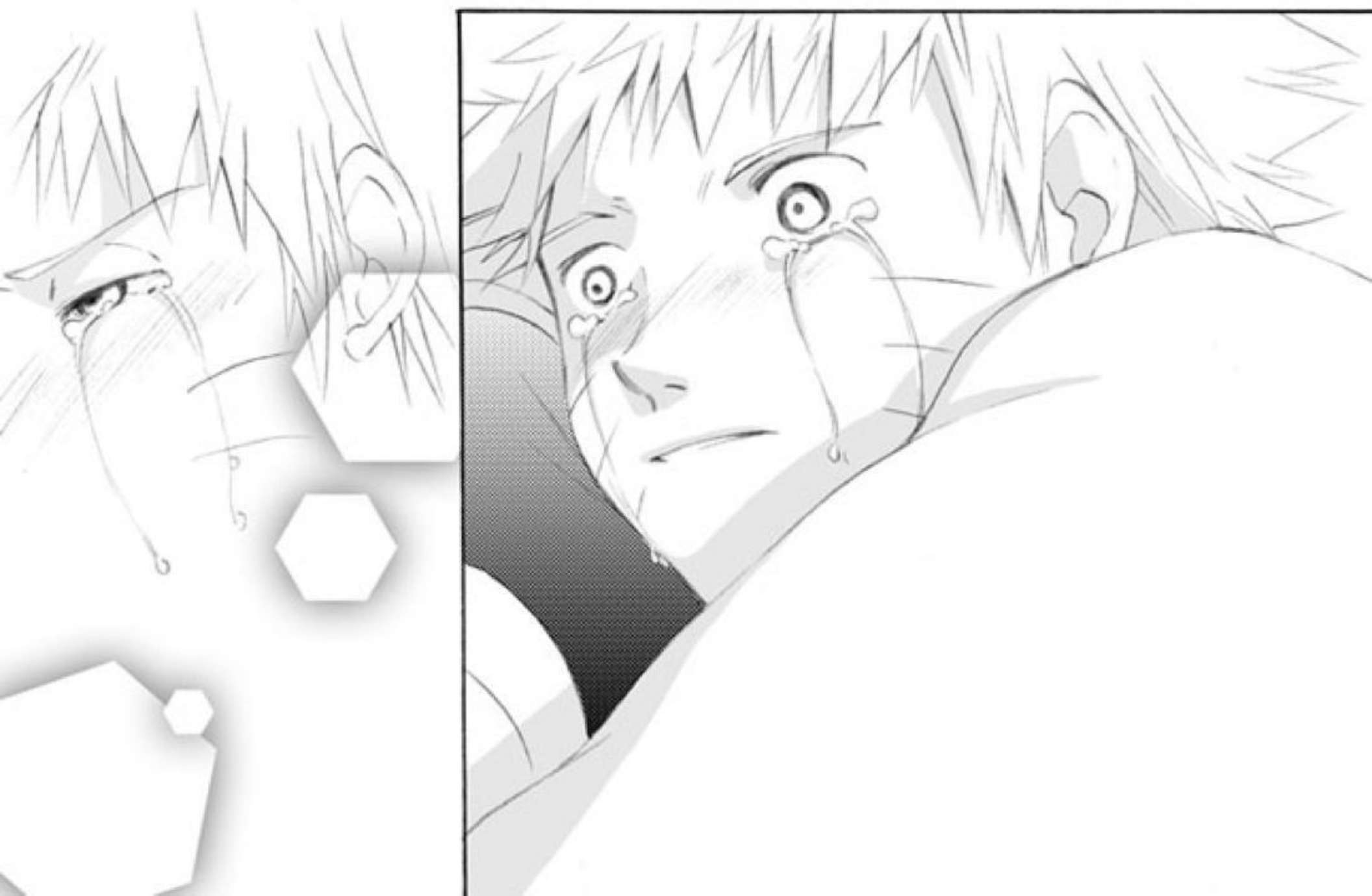
これが
そうなのかなって
思ったー

うっ

うっ・・・

カカシ・・・
先生・・・！







オレにもちゃんと
あつたんだ・・・

カカシ先生は

気付いてくれて
いたんだ・・・

・・・

ナルト・・・？

・・・



・・・ナルト？
どした・・・？



・・・え？

何？痛い・・・？

・・・あ
ううん・・・
大丈夫！
何でもねー
つてばよ

そう・・・？

うん・・・
そんなことよりさ
早く動いて
くれつてばよ！
カカシ先生

何でかな・・・

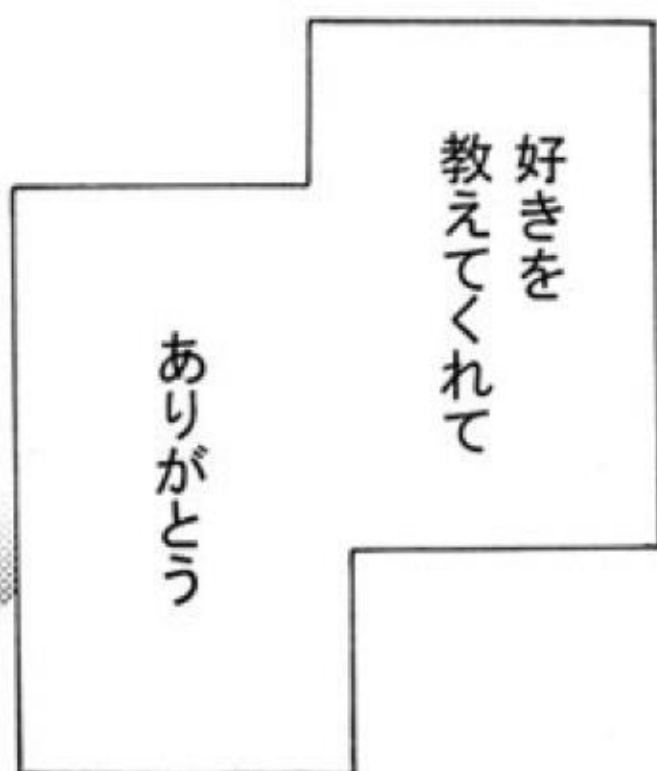
思い出してた
つてばよ・・・
昔のこと・・・





カカシ先生





「好きを教えて」END

この作品は、某力カナル作家様からお借りした原案に、
 私が独自にストーリーを盛り込み
 漫画化させていただいたものでした。
 原案自体には、いろんな面白い背景や特殊な要素があって
 それ自体が1つのネタになっていたのですが、
 一言で申しますと『ナルトの前で自慰する力カシ先生』
 というものでした^^原案が素晴らしかった分
 自分の画力・表現力では、追いつかない部分が多々ある
 のですが、もう、これを描いていたとき、エロを真剣に考え
 すぎて、最終的にエロに麻痺(?)しながら描いていた覚えが
 あり;;時間がたって見返しますと、夢中で書いていた分、
 めちゃくちゃ恥ずかしい作品でびっくりしました…いやほんと
 恥ずかしいです…エロがって意味でなくもう…全てが;;;;
 少女漫画を全力で目指したホモだったのですが(←?!)
 ちょっとオエエエエな部分もありつつも、読んでくださった方が
 楽しい時間を過ごしていただけていたらと思います。

読んでくださいましてありがとうございました！

後記に載せたおまけ漫画



2014年4月某日 竹中 瞳 (2012年5月3日発行)